

2021年度
日本学生支援機構奨学金
返還説明資料

目次

1. 返還関係書類の確認
2. 要点【全員共通】
3. 奨学金返還の重要性
4. 本学の延滞率について
5. リレー口座の手続きについて
6. 保証制度・利率・月額・返還方式の変更について
7. 返還確認票の記載事項の確認
8. 貸与終了後【2022.4以降】の変更手続き
9. 返還開始時期と振替日
進学者の在学猶予
10. 繰上返還について
11. 返還期間(回数)の変更
12. 救済制度について
 - ① 在学猶予制度
 - ② 減額返還制度
 - ③ 返還期限猶予制度
13. 返還免除制度について
14. 「特に優れた業績をあげた大学院生に対する」返還免除申請
15. 要点(復習)

返還関係書類の確認

封筒の中身

①返還確認票（**青字**の横長の紙）

②返還のてびき（ダイジェスト版）

※フル版は、JASSO公式サイトから**必読**！

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/flow/tebiki.html>

③リレー口座加入申込書（返還てびき内に綴込み）

要点【全員共通】

①リレー口座の加入

⇒**12月10日までに「預貯金者・控」のコピーを
奨学金担当窓口へ提出 ※全員必須**

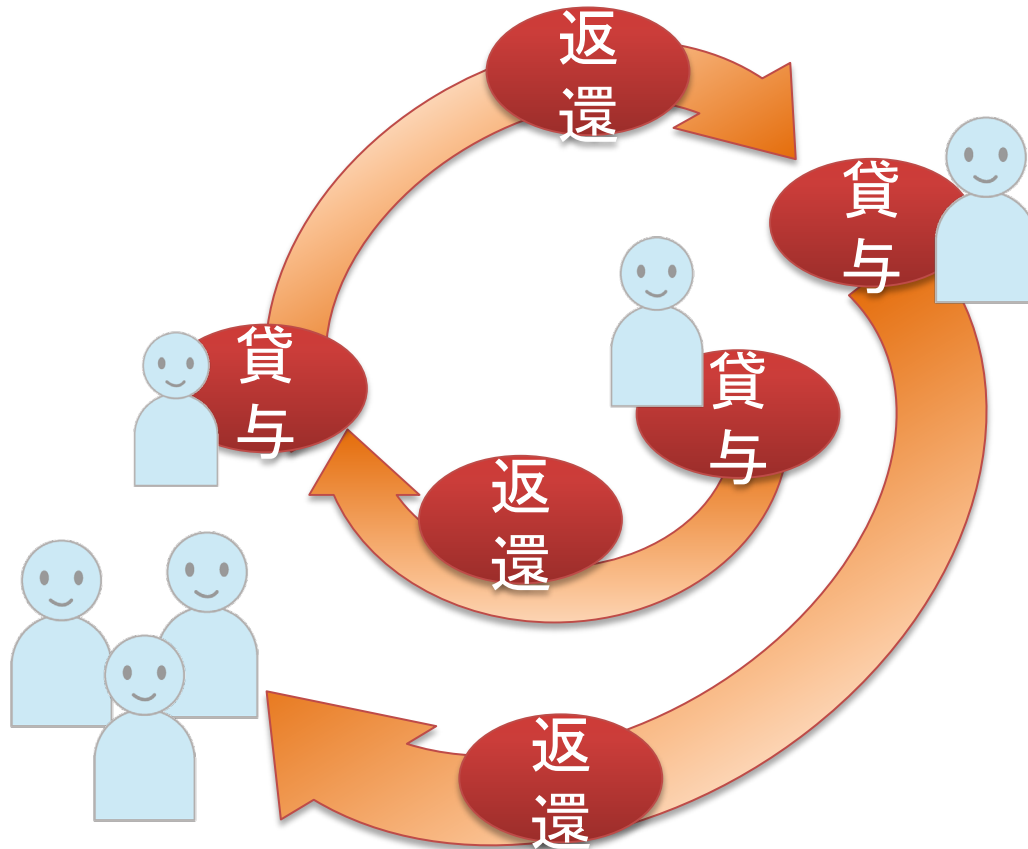
②返還確認票の記載事項訂正

⇒原則として、**2022年4月中旬以降
「スカラネット・パーソナル」で届出**

③2022年3月貸与終了者 返還開始時期

⇒**第1回目振替日 2022年10月27日**

奨学金返還の重要性



みなさんが返還するお金は、
後輩の奨学金として貸与されます

リレー口座の手続きについて

金融機関窓口での手続き後、
「預・貯金者控」のコピーを
奨学金担当へ提出

提出期限 12月10日

全員必須の
手続きです

(金融機関用)

様式1

**日本学生支援機構奨学金返還 自動払込利用申込書
預金口座振替依頼書**

(リレ一口座) (貯金者・ゆうちょ銀行→貯金事務センター)

平成 年 月 日申込

ゆうちょ銀行御中
私は、日本学生支援機構奨学金を私名義の下記口座から自動払込みによって返還したいので申し込みます。
(※ゆうちょ銀行をご指定の場合は自動払込み規定の適用されます。)

払込先 口座番号	契約種別コード	記号 (6桁目がある場合は 当欄に記入して下さい)	払込日 期振込支払月 (休日の場合) は振替翌日
00190-9-579016			

振込コード 1 6 6 2 7

フリガナ氏名
住所
電話番号
郵便番号
TEL

貯金者用通知1

取組金融機関御中
私は、日本学生支援機構奨学金の返還を私名義の下記預金口座から各該金融機関によって支払うことにしたので、貴会の預金口座振替設定を確認のうえ依頼します。

本機コード 原(金融機関記入欄) 金融機関コード	店コード	預金種目	振替日 (振替手数料の発生しない日)	振印 預金 関係 受付 印
6389			新設金支払月の27日 (振替手数料の発生しない日)	

取組金融機関名及び支店名
フリガナ氏名
住所
電話番号
郵便番号
TEL

預金者用通知1

◆共通記入欄

奨学生番号	生年月日	昭和 年 月 日 和平
- -		

フリガナ氏名
学 籍 番 号
住所
電話番号
E-mail
生 動 員 氏 名
TEL

金使 用 関 係
(不償還却却事由)
1. 預金取引なし
2. 記載事項等相違(店名・口座番号、口座種別)
3. 印鑑相違
4. その他()
(備考)

二枚目の様式2(金融機関→日本学生支援機構)は金融機関より機構に交付してください。
三枚目を押印してください。
三枚目を押印してください。

フル版のページ
です。(以降同じ)

返還の手引き
14～15ページ

保証制度・利率・月額・返還方式の 変更について

窓口まで提出書類を取りに来てください

- 【第一種のみ】返還方式の変更

(※2017年度以降採用者が対象)



11月26日(金) までに提出

- 【第二種のみ】利率の算定方法の変更



11月26日(金) までに提出

- 人的保証から機関保証への変更



12月2日(木) までに提出

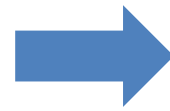
- 月額の変更



12月10日(金) までに提出

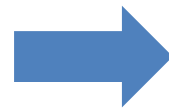
返還確認票の記載事項の確認

- 本人の住民票の異動
- 連帯保証人・保証人の住民票住所の変更
- 氏名の変更
- 生年月日の訂正
- 連帯保証人・保証人の続柄の変更
- 人物（連帯保証人・保証人・本人以外連絡先）の変更



2022年4月中旬以降
スカラネット・
パーソナルで届出
（一部手続きは書類準備の上
機構へ送付）

その他の訂正



2022年4月以降
スカラネット・パーソナル
から変更

返還の手引き
5～13ページ

貸与終了後【2022.4以降】の変更手続き

- 振替用口座の変更

➡「**口座振替（リレー口座）加入申込書**」を機構に提出

- 本人、連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先の 住所・氏名・勤務先の変更

➡2022年4月中旬以降に

「スカラネット・パーソナル」から届け出 または
「転居・改氏名・勤務先（変更）届」を機構に提出

- 連帯保証人・保証人の人物変更【人的保証のみ】

➡「**連帯保証人変更届**」「**保証人変更届**」を機構に提出

- 本人以外の連絡先の人物変更【機関保証のみ】

➡「**本人以外の連絡先（機関保証）変更届**」を機構に提出

返還の手引き

24～26ページ

返還開始時期と振替日 進学者の在学猶予

- 2022年3月貸与終了者

第一回目振替日 **2022年10月27日**

- 振替日は毎月27日（休日の場合は翌営業日）
- 修士または博士課程へ進学する方で、
在学中の返還猶予を希望する方は、
入学後速やかにスカラネット・パーソナルから
「在学猶予願」を提出すること

返還の手引き
16,19,22,27ページ

繰上返還について

- スカラネット・パーソナルから申込み
または、「繰上返還申込書」の郵送・FAXや電話で申込み
- 在学中に繰上返還をする場合

申込方法

スカラネット・パーソナル

申込期間

2022年3月2日～3月15日午前1時

※現在の予定。申込みの際は機構ホームページを確認すること

入金方法

口座振替

振替日

2022年3月28日

返還期間（回数）の変更

対象

複数の奨学生番号がある方

例) 学士: 216万円 → 14年(168回) で返還

修士: 120万円 → 12年(144回) で返還



学士 + 修士: 336万円 → 19年(228回) で返還

申請方法

「奨学金返還期間変更願」を機構に郵送。
変更を希望する月の2か月前までに提出。

救済制度について

在学中や経済困難、災害や傷病などの理由により
返還が困難な事情が生じたら・・・

① 「在学猶予制度」

学校に在学中、返還の期限を先延ばしにする制度

② 「減額返還制度」

毎月の返還額を半額又は1/3に減額し、返還期間を
延ばして返還する制度

③ 「返還期限猶予制度」

低収入などの場合で、返還期限を先延ばしにする制度

返還の手引き
29～34ページ

① 在学猶予制度

在学猶予とは

在学している間、願い出により返還期限を猶予することができる制度。

願い出の方法

在籍している学校、または、進学先の学校に入学後、
スカラネット・パーソナルを通して「**在学猶予願**」を提出。

入力の際に学校番号が必要。

東工大進学者はホームページ「日本学生支援機構奨学金」の
「返還について」に掲載。

返還の手引き
27～28ページ

② 減額返還制度

減額返還とは

毎月の返還額を半額又は1/3にし、返還期限を延ばして返還する制度。
適用期間は最長15年（1年ごとの願い出が必要）

適用条件

収入・所得金額の目安は、給与所得の場合は年325万円以下、
給与所得以外の場合は、年225万円以下

願い出の方法

「奨学金減額返還願」と証明書類(初回申請時は不要)を機構に郵送。
希望月の3か月前から2か月前の月末までに提出する。

返還の手引き
29～30ページ

③ 返還期限猶予制度

返還期限猶予とは

- ・ 経済困難等により返還が困難な場合に、返還期限を猶予できる制度。
- ・ 通算10年（120か月）が限度。

適用条件

- ・ 経済困難の認定の目安は、給与所得は年300万円以下、給与所得者以外の場合は、年200万円以下。
- ・ 災害、傷病、生活保護受給中、産休・育休中、一部の大学校在学、海外派遣の場合は、事由が続いている期間の猶予が可能。

願い出の方法

「奨学金返還期限猶予願」と証明書類を、希望月の3か月前から2か月前の月末までの間に、機構に郵送が必要。

返還の手引き
31～33ページ

返還免除制度について

**死亡，精神又は身体の障害による
免除**

**大学院第一種奨学金の特に優れた業
績による返還免除**

返還の手引き
35～37ページ

「特に優れた業績をあげた大学院生に対する」返還免除申請

対象者

2021年度に**第一種奨学金**の貸与を終了する（終了した）大学院生

募集のお知らせ

12月下旬頃（予定）
ホームページにて

申請締切

2月中旬（予定）※期限厳守

学内選考結果

6月下旬頃（予定）
本人宛通知を大学から郵送

正式な決定

7月下旬頃（予定）
本人宛通知を機構から郵送

返還の手引き
35～37ページ

「特に優れた業績をあげた大学院生に対する」返還免除申請

注 意 点

- 提出締切日に注意（厳守。期限を過ぎたものは一切受け付けません）
- 業績の対象となる期間は、**奨学金貸与中の期間のみ**
- 学位論文は「表紙・目次・概要」のみの提出でよい（全部提出しない）
- 学会や学術誌の業績を提出の場合、以下にマーカー
 - ①開催時期・発行日など期日がわかる部分
 - ②学会名・学術誌のタイトル
 - ③本人の名前
- RAの業績証明として労働条件通知書を提出できる
- 「ボランティア」とは**「自分の教育研究活動での成果によるもの」**であり、かつ一定の評価が必要

要点（復習）

①リレー口座の加入

⇒**12月10日までに「預貯金者・控」のコピーを
奨学金担当窓口へ提出 ※全員必須**

②返還確認票の記載事項訂正

⇒原則として、**2022年4月中旬以降**
「スカラネット・パーソナル」で届出

③2022年3月貸与終了者 返還開始時期

⇒第1回目振替日 **2022年10月27日**